

南から北から

神奈川県
横須賀市医師会報
NO.364より

ウクライナと
アマチュア無線
中島 茂



89歳なのに70歳ぐらいに見える、かれこれ15年のお付き合いの患者さんのお話です。

今も変わらず、お話がスマートでインテリな方だったので、ご職業を聞いたところ、以前は造船所でエレクトロニクス関係の仕事をしていました。62歳で定年し、その後、特殊技能を買われて70歳で退職。70年前に取得したアマチュア無線を今でもやっているのが元気の秘訣と教えてくれました。毎日世界中の誰かと英語でお話しているそうです。

秋田県
秋田医師会報
NO.1596より

知的競技としての麻雀
福岡 勇樹



私が麻雀にはまったのは高校生の頃で、とある漫画がきっかけでした。麻雀は「見える領域と見えない領域があり、4人それぞれの意思や感情で結果が左右される」という、言わば不完全情報ゲームであるところに魅力を感じました。覚えていた頃とはかく強くなりたくて、自分の部屋に麻雀牌を用意して、1日中考えていました。

以前からウクライナの人ともつながり、今この大変な時でも無線で呼ばれるそうです。意外にも相手は同じウクライナに住むロシア人であるため、一般の方は、皆ロシア人とは仲良しのことです。そして、ウクライナの人は意外にも日本人のことを好きで、いろいろ話してくれるそうです。

この患者さんは、もちろん糖尿病コントロールは良好です。時々ワイフ

らえたことがとてもうれしかったことを覚えていきます。

大学に入学後は麻雀好きに拍車(しやくわ)が掛かりました。大学3年の頃、「雀鬼」と言われる桜井章一さんが開設している道場に行きました。雀鬼流麻雀はお金を賭けることはせず、競技麻雀と言って良いと思います。12時間くらい稽古をつけて頂き、帰ろうとした時にふと、桜井さんが書いていたノートが目にとまりました。そこには「今日栃木から来た彼は、自信が前面に出ていて麻雀に対する驕り(おごり)が見える。謙虚にならなければいけない」と記されていました。自分が強くなって勝つことばかり考えてきたので、全てを見透かされたような衝撃が走りました。その後は自分勝手な麻雀をやめ、全体の和を考えて打つことを心掛けるようになりました。

宮城県
仙台市医師会報
NO.688より

68億分
佐藤 啓

16年前に開業した時のオープンスタッフは5名いたのだが、その時には3人兄弟姉妹の末っ子は一人だけであった。そのうちいろいろな事情だったり、嫌になったり、パートナーの都合だったりして、徐々にスタッフは入れ替わっていったのだが、最後に一人残った職業当時のスタッフは3人姉妹の末っ子だった。そして気が付くと、その方を入れて4名の常勤スタッフ(正職員)全員が3人兄弟姉妹の末っ子になっていた。それに加えて、うちの力ミさんも、時々事務受付スタッフとして加わるのだが、彼女もな

らえたことがとてもうれしかったことを覚えていきます。大学に入学後は麻雀好きに拍車(しやくわ)が掛かりました。大学3年の頃、「雀鬼」と言われる桜井章一さんが開設している道場に行きました。雀鬼流麻雀はお金を賭けることはせず、競技麻雀と言って良いと思います。12時間くらい稽古をつけて頂き、帰ろうとした時にふと、桜井さんが書いていたノートが目にとまりました。そこには「今日栃木から来た彼は、自信が前面に出ていて麻雀に対する驕り(おごり)が見える。謙虚にならなければいけない」と記されていました。自分が強くなって勝つことばかり考えてきたので、全てを見透かされたような衝撃が走りました。その後は自分勝手な麻雀をやめ、全体の和を考えて打つことを心掛けるようになりました。